

令和8年5月24日 第2回

10年後のまちの 未来予想図 ワークショップ



参加人数 28人

対象 フラワータウンにお住まい・お勤めの方、
FTで活動されている方、事業者・関係団体
※まちづくりに関心のある方はどなたでも応募できます

フラワータウンがこれからもあらゆる世代が暮らし続けたいと思えるまちであるために、センター地区の理想的な将来の姿＝「未来予想図」を描くワークショップを開催します。参加者同士の対話を通じて、現在まちにあるもの、これから必要なものを整理し、思い描く現実と将来像とのギャップを共有しながら、持続的なまちづくりの方向性を考えます。



NEWS 第2回 みんなの意見を募集しています

第2回ワークショップでは、フラワータウンで活用すべき資源や今後必要な将来像について整理を行いました。

参加できなかったみなさんの意見もぜひお聞かせください。

いただいたご意見は今後のワークショップで共有いたします。

6月中旬ごろより、WEBでの回答に加えて、気軽にみなさんの意見を書いて貼ることのできる「意見募集パネル」を各所に設置します。

< 設置場所 >

エキマエアキチ/フラワータウン市民センター
/多世代交流館ふらっと前/サンフラワー1階

WEBからの
投稿はこちら



第3回～第4回 応募申込いただけます

申込みフォーム



第3回 第4回
申込〆切 申込〆切
6/22 7/20

〇各年代の意見共有



フラワータウン再生レポート

まちの再生に関する動きや変化をお知らせします

令和8年5月24日(日)に、第2回フラワータウンセンター地区「10年後のまちの未来予想図」ワークショップが開催されました。第2回ワークショップでは、第1回で出された意見をもとに、「地域資源」「心配事」「将来アイデア」をつなぎながら、フラワータウンのまちの将来像や活用すべき資源について整理を行いました。

第2号

第2回ワークショップでみえてきた 7つのまちの将来像と7つの資源

7つの将来像

① いきたくなる居場所

② 教育・学び

③ 非日常のにぎわい

④ 移動

⑤ 若者の定着

⑥ DIY的まち整備

⑦ 身近で気軽な買い物環境

7つの資源

① 公園・自然

② 郊外アクセスの良さ

③ フローラ88跡地
(駅前のにぎわい)

④ 人の温かさ

⑤ ひととはく
(人と自然の博物館)

⑥ 空き家活用

⑦ 道路・遊歩道



